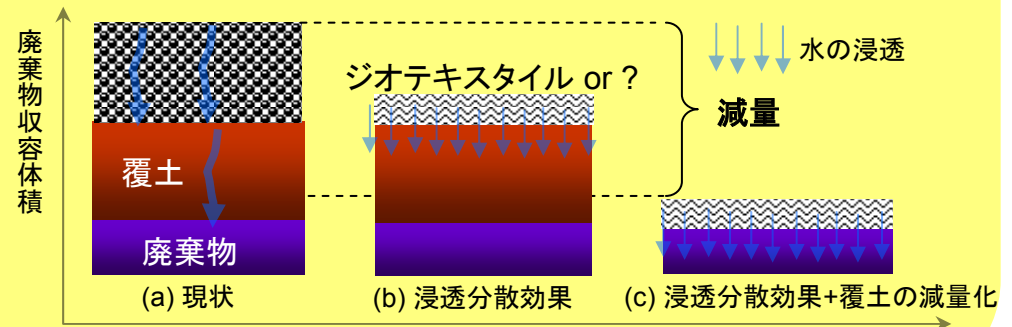


埋立廃棄物処分場におけるキャピラリー効果を利用した早期安定化型覆土システムの開発

既存の埋立廃棄物処分場の延命化と埋立終了後の早期安定化を目的とした覆土システムを開発に関することを目的としている。現在、覆土としては現地発生土や良質な山砂が使用されているが、これに代わるジオテキスタイルと呼ばれる不織布を使用することでキャピラリー効果を発揮させ、廃棄物層内への水の浸透をコントロールし、廃棄物処分場の早期安定化を目指している。



洗い出し効果による廃棄物層内の早期安定化

研究課題

- 1) 埋立廃棄物処分場におけるキャピラリー効果を利用した早期安定化型覆土システムの開発
- 2) 微生物代謝を利用した廃棄物処分場の覆土システムの開発
- 3) 有機溶剤に対するジオシンセティクスの遮水特性の評価
- 4) X線CTスキャナーを用いた揮発性有機化合物(VOC)の地盤内輸送メカニズムの解明に関する実験的研究
- 5) NAPLを対象とした二次元多相流浸透解析
- 6) X線CTスキャナーを用いたバイオレメディエーションの定量的評価
- 7) 堤体内部の水分挙動の可視化とその定量的評価

アピール

廃棄物の処理問題や有機溶剤による地盤汚染の問題は、世界中で近年多種多様化してきています。皆様に研究成果の発信とこの分野の国際的な情報を提供できるよう努めてまいります。



埋立廃棄物処分場と埋立地下の廃棄物